

ぎふ地域の絆づくり 支援センターだより

— 地域で活発な活動団体を紹介します! —



第43号

令和7年12月発行

岐阜県環境エネルギー生活部
県民生活課
ぎふ地域の絆づくり支援センター
〒500-8570
岐阜市薮田南2-1-1(県庁9階)
電話 058-272-8199

53 大門自治会 (本巣市)

活動地域: 本巣市 大門地区 活動拠点: 大門公民館 会長: 清水 富士夫

地区の概要

本巣市は、本巣町、真正町、糸貫町、根尾村が合併し、岐阜県の南西部のほぼ中央から北端に位置する。北部は福井県との県境を、西部は揖斐郡に、南部は瑞穂市と北方町に、東部は岐阜市、山県市、関市と隣接している。

大門地区は、本巣市南部の真正地区(旧真正町)の北部に位置している。近年は、宅地分譲により住民が増加し、ここ30年で世帯数は倍増している。

【地区データ】令和7年11月1日現在
人口: 771人 世帯数: 282世帯

大門自治会について

●自治会活動の基本的な考え方

【自治会の存在意義の第一は防災】

【自治会活動の見える化】

自治会だよりの毎月発行、総会資料の明瞭化、自治会規約の改正

●大門自治会の組織

会長、副会長、公民館長、会計、1班~9班

社会教育推進委員、社会体育推進委員

子供会、中学生育成会、福寿会(敬老会)

大門自治会IT委員会、婦人消防、自主防災など

自治会活動の見える化

わかりやすい自治会の運営

●自治会を身边に感じてもらう

本巣市の広報誌と一緒に「自治会だより」を毎月配付している。「自治会だより」には、行事予定や自治会の方針等を掲載している。

掲載された情報は、自治会のホームページ「大門自治会ポータル」のサイトにおいても公開している。会員は、いつでも都合の良い時間に、情報を閲覧することが出来る。緊急情報やイベントのお知らせも、ホームページから確認できるため便利である。



●わかりやすい総会資料

総会資料は、総会の1週間前までに会員に送付されている。各会員が、事前に資料に目を通してから総会に参加してもらう方式である。決算や予算についても、詳細な説明を掲載して「自治会会費の使途明瞭化」に取り組んでいる。



●信頼を得るために

自治会規約は、自治会や会員の現状に合わせて15年ぶりに大幅な改正を行っている。

自治会業務のICT化

●クラウドシステムの活用

「大門自治会IT委員会」を設置して、クラウドシステムを使用した自治会業務のICT化を行っている。

Googleドライブを活用したデータの一元化

Google Workspace のGoogle ドライブを活用しデータのクラウド上への一元化を図っている。具体的には、役員や委員ごとに権限が付与された共有ドライブにデータを保存する。これにより、①ウイルス感染やデータ紛失のリスク低減といったセキュリティの向上②役員交代時のデータ引き継ぎがスムーズに行われるといった事務の効率化が図られている。



●公民館の予約システム

公民館の利用申込みは、インターネットから出来るようにしている。申込み状況の確認も、インターネット上で出来るため、タイムリーな情報

確認が出来て、公民館長の業務も軽減されている。現在、インターネットからの利用申込みの割合は、100%となっている。

防災活動と住民ふれあい活動

大門自治会では、自助・共助が出来るように防災計画を作成し、毎年更改している。この防災計画は本巣市の「地区防災計画」として認定されている。



大門自治会 防災計画

- 一 地区の概要
 - ・ 地区の特徴
 - ・ 想定される災害
- 一 防災活動
 - ・ 大門自治会自主防災組織
 - ・ 平常時、災害時の防災活動
 - ・ 自己防災の方法
 - ・ 災害時の各担当の活動内容
- 一 防災施設
 - ・ 避難場所について
- 一 参考資料
 - ・ 洪水ハザードマップ
 - ・ 非常時持ち出し品チェックリスト
 - など



ふれあい区民会議

●防災計画

防災計画（初版）を基に、地域で取り組む防災対策として「ふれあい区民会議」で小中学生の意見や考えも取り入れ、防災計画（第2版）に反映させている。

「ふれあい区民会議」では、自宅、通学路、学校におけるDIG*を行い、危険な場所をリストアップしている。

*「DIG(ディグ)」とは、Disaster(災害)Imagination(想像力)Game(ゲーム)の頭文字を取って名付けられたもので、参加者が地図を使って防災対策を検討する訓練。



提案された危険な場所の事例

●ホームページ活用

災害時、非常時の連絡手段として活用するほか、防災無線の補完機能（無線の聞こえない地区対策）として利用。

●防災訓練

消防団員の指導による消火栓・ホースを使用した放水訓練のほか、非常食の炊き出しや非常用電源を活用したわたり菓子作りや、かき氷作りなどの工夫を凝らした防災訓練を行っている。



防災訓練の様子

●災害対策名簿

本巣市と連携して地域住民の災害対策名簿を整備して、災害発生時には、名簿による住民の安否の確認を行う。

●ふれあい区民会議

年2回、大門公民館にて小中学生を含めた子どもと大人が集まる区民会議を行っている。防災計画を始めとして、地区の歴史、特産物である富有柿についてなど地元に密着した情報や、スマホの活用方法など地域社会に必要とされる事項について、グループに分かれて話し合い自分たちの考えを発表する方法により、小中学生にもわかりやすい会議を開催している。

●今後の課題

自治会役員の後継者について、「誰が担当しても可能な自治会体制」を構築し未来を展望した仕組みづくりが必要である。自治会の認知度把握として、ICTを利用したアンケートを実施して数値的な分析を行いたい。また、「ふれあい区民会議」や「防災訓練」などの自治会行事への参加者を、いかに増やしていくかが課題である。更に、空き家・空き地対策や独居の高齢者へのフォローなどの様々な課題への対応も必要となってきている。



いもほり大会（空き地対策事業）

取材を終えて

大門自治会では、空き地の有効活用としてサツマイモを栽培することで、子どもたちが「作物をつくる体験・喜びを学ぶ」ことが出来る取組も行っている。サツマイモの植付け、いもほり大会などのイベントにより、参加者同士が顔見知りとなり、いざという時にはお互い助け合える関係が期待出来ると感じた。

業務のICT化を進めている「大門自治会IT委員会」には、ICT精通者のほかに岐阜県コミュニティ診断士も参加されており、これからの地域の活性化が楽しみである。

取材にご協力いただいた皆様本当にありがとうございました。

ぎふ地域の絆づくり支援センターからのお知らせ

●岐阜県コミュニティ診断士とは

地域コミュニティの現状について調査・分析を行い課題について解決・改善に取り組み、地域コミュニティの再生・活性化を推進するコミュニティの専門家。

岐阜県コミュニティ診断士

ぎふ地域の絆づくり支援センターだより



岐阜県コミュニティ診断士
についてはこちらから



支援センターだよりは
こちらから

